

(別紙)

## 推 奨 映 画 に つ い て

題 名	聖の青春
原 作	聖の青春 (大崎善生 著)
監 督 名	森 義隆
製 作 者	2016「聖の青春」製作委員会
内 容	<p>1994年、“西の怪童”と呼ばれる新世代のプロ棋士、村山聖が大阪にいた。聖は幼少時より「ネフローゼ」という腎臓の病気を患いながら、将棋界最高峰のタイトル「名人」を目指して快進撃を続けるが、同世代の天才棋士・羽生善治が立ちはだかる。既に新名人となっていた羽生との初対局で、聖は必死に食らいつくが、結局負かされる。羽生の傍で将棋を指したいと思った聖は上京を希望し、師匠・森信雄に相談。家族や仲間は反対したが、将棋に人生の全てを懸けてきた聖を心底理解している森は、彼の背中を押し、聖は上京する。</p> <p>アパートの部屋は散らかり、酒を飲むと先輩連中にも食ってかかる聖に皆は呆れるが、同時に強烈な個性と純粋さに魅了され、いつしか聖の周りには彼の情熱を支える仲間たちが集まる。その頃前人未到のタイトル七冠を達成した羽生を、聖は更に強く意識し、ライバルでありながら憧れも抱く。そして一層将棋に没頭し、並み居る上位の先輩棋士を下して、羽生を射程圏内に収めるようになる。そんな折、聖の身体に癌が見つかり、「このまま将棋を指し続けると死ぬ」と医者は忠告。しかし聖は聞き入れず、将棋を指し続けると決意。もう少しで名人への夢に手が届くところまで来ながら、彼の命の期限は迫っていた。</p> <p>天才・羽生善治と並び称されながら、29歳にして亡くなった実在の棋士の、病と闘いながら将棋に全人生を賭けた一生を描くノンフィクション作品。</p>
推 奨 理 由	<p>病と闘いながら将棋に全人生を賭け、全力で駆け抜けた棋士の一生を、実話に基づき、師弟愛、家族愛、ライバルたちとの友情を通して描いており、人間としての愛情を豊かに育て、青少年の健全な育成に役立つ作品であると認められるため。</p> <p>なお、小・中学生については、主人公の生き方を考えるために家族と鑑賞し話し合う機会を要することをもって、健全な育成に役立つ映画として推奨する。</p>
上映期間・場所	期間：平成28年11月19日(土)～ 場所：広島バルト11，八丁座，109シネマズ広島 ほか